

平成 29 年度 総務・経理事業報告

10 周年を迎えるにあたり、施設のパフレットを新しく作り直すことでより一層「てらだ」を理解して頂けるものができ、多方面の方々に配布することができました。又、9 月には市内の他事業所等と共に「てらだ」施設裏の駐車場で地域ふれあい交流会を盛大におこなうことができました。今後も地域とともに地域福祉の向上・地域の活性化に努めます。

平成 29 年 9 月 1 日より加古川市障がい者基幹相談センターが開設となったことで、相談支援機能強化事業(加古川市との)の受託契約は 8 月で終了となりましたが、個々の相談等について連携を取るなど質の良いサービス提供に努めることができています。

施設の経営では透明性の確保・職員の経営理念・経営方針の共有化を図り、施設利用者がより安全で安心して生きがいもてる、地域社会への開かれた施設運営をめざし、法人本部の機能強化並びに人材確保・育成策等を充実強化することを目的として、事業を実施しました。

1. 評議員会の開催

1 平成 29 年 4 月 8 日 (土) 午後 3 時から午後 5 時 10 分

障がい者支援センター「てらだ」3 階会議室

評議員定数 7 名以上 11 名以内、現在員 11 名中出席者 9 名

出席役員 理事 (2 名)・監事 (2 名)

(決議事項)

第 1 号 平成 28 年度補正予算について

第 2 号 平成 29 年度事業計画について

第 3 号 平成 29 年度事業予算について

2 平成 29 年 6 月 10 日 (土) 午後 1 時 30 分から午後 4 時 45 分

障がい者支援センター「てらだ」食堂

評議員定数 7 名以上 11 名以内、現在員 11 名中出席者 10 名

出席役員 理事 (2 名)・監事 (2 名)

(決議事項)

第 1 号 平成 28 年度事業報告

第 2 号 平成 28 年度決算報告

第 3 号 理事の選任

第 4 号 監事の選任

第 5 号 役員・評議員報酬規程の改正

(報告事項)

第 1 号 職員の昇任・昇給について

3 平成 29 年 6 月 24 日（土）

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 194 条の規定
（評議員会の決議の省略）

（決議事項）

第 1 号 定款変更（基本財産の増加）

4 平成 29 年 11 月 4 日（土）

医療法人達磨会 東加古川病院新館 4 階 多目的ホール
（報告）

- ・てらだ利用状況推移及び事業収支中間報告
- ・各事業中間報告
- ・第 1 回ふれあい地域交流会報告
- ・育児休業等に関する規則の一部改正（案）について
- ・旅費規程の一部改正（案）について

5 平成 30 年 3 月 29 日（木）午後 1 時 30 分から午後 3 時

障がい者支援センター「てらだ」3 階会議室
評議員定数 7 名以上 11 名以内、現在員 11 名中出席者 8 名
出席役員 理事（1 名）・監事（1 名）

（決議事項）

第 1 号 平成 29 年度補正予算（案）

第 2 号 平成 30 年度事業計画（案）

第 3 号 平成 30 年度事業予算（案）

（報告）

第 1 号 経理規程の一部改正及び経理規程細則
予算管理規程の一部改正について

2. 理事会の開催

1 平成 29 年 5 月 20 日（土）午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分

医療法人達磨会東加古川病院本館第 2 会議室
理事定数 6 名以上 10 名以内、現在員 6 名中出席者 6 名
監事定数 2 名、現在員 2 名中 1 名

（議題）

第 1 号 平成 28 年度事業報告

第 2 号 平成 28 年度決算報告

第 3 号 新理事候補者の選考

第 4 号 新監事候補者の選考

第 5 号 役員・評議員報酬規程改正（案）

（報告）

第 1 号 職員の昇任・昇給について

2 平成 29 年 6 月 24 日（土）午後 1 時 30 分から午後 2 時 15 分

医療法人達磨会東加古川病院新館 4 階多目的ホール

理事定数 6 名以上 10 名以内、現在員 10 名中出席者 7 名

監事定数 2 名、現在員 2 名中 2 名

（議題）

第 1 号 理事長の選定について

第 2 号 定款細則の改正について

第 3 号 定款変更について

3 平成 29 年 11 月 4 日（土）午後 1 時 30 分から午後 3 時

医療法人達磨会東加古川病院新館 4 階多目的ホール

理事定数 6 名以上 10 名以内、現在員 10 名中出席者 8 名

監事定数 2 名、現在員 2 名中 2 名

（議題）

第 1 号 育児休業等に関する規則の一部改正（案）について

旅費規程の一部改正（案）について

（報告）

第 1 号 てらだ利用状況推移及び事業収支中間報告

第 2 号 各事業中間報告

第 3 号 第 1 回ふれあい地域交流会報告

4 平成 30 年 3 月 24 日（土）午後 1 時 30 分から午後 3 時

医療法人達磨会東加古川病院新館 4 階多目的ホール

理事定数 6 名以上 10 名以内、現在員 10 名中出席者 10 名

監事定数 2 名、現在員 2 名中 1 名

（議題）

第 1 号 平成 29 年度補正予算（案）

第 2 号 平成 30 年度事業計画（案）

第 3 号 平成 30 年度事業予算（案）

第 4 号 経理規程の一部改正（案）及び経理規程細則

予算管理規程の一部改正（案）

3. 寄附採納

(1) 平成 29 年 7 月 31 日

兵庫県東播磨福祉地区善意募金会様

現金 5 万円

(2) 平成 30 年 2 月 5 日

野口山町内会様

現金 1 万円

4. 施設整備

入所支援事業

業務用炊飯器 140,400 円

就労支援B型事業所 第1工房

開閉ドア設置 680,400 円

5. 研修

職員の研修会の参加については、兵庫県社会福祉協議会研修センター主催の研修会を中心に参加し職員の資質の向上に努めました。尚、研修結果の報告については、報告書を提出する方法で実施しました。

- (1) 外部研修参加状況：兵庫県社会福祉協議会主催研修会 14回 12名
(接遇研修・権利擁護研修・財務管理研修等)
：福祉のまちづくり研修所 3回 2名
(従事者初任者研修・従事者現任者研修)
：その他の研修会・セミナー等 7回 5名
(防災研修会・就業支援研修会)

- (2) 内部研修参加状況：法人・施設主催

- 1.職場研修会
- 2.人権啓発研修会
- 3.心肺蘇生・救命講習会
- 4.外部研修発表会

- (3) 安全委員会 年3回

[平成29年度 事故報告
	スタッフによる事故 7件
	利用者による事故 4件
	ヒヤリハット事例 25件

利用者が施設において、安心・安全な生活が送れるよう、ヒヤリ・ハット・事故報告書により未然防止及び再発防止に努めました。

6. 運営管理及び財務状況の概要

①昨年4月から一般家庭や小規模店舗も電気の自由化となったことで、「てらだ」としても経費削減に電気・ガスの見直しをおこないました。電気に至っては10月より37.9%値下げを、ガスは1月より17%値下げを関西電力と契約をおこないました。「てらだ」では利用者サービス低下を来さない範囲で経費削減の工夫をおこなうことができました。

②各事業において稼働率が安定したこともあって当初障害福祉サービス等事業収入月額 1800 万円を見込んでいましたが最終平均月額 1900 万円の収益がありました。

収支差額の増額理由

1.稼働率の安定、効果的・効率的な運営による

2.コスト削減など

が考えられます。増額収入については、建物建替積立金の積立金として積立をおこないました。

平成 29 年度 入所部門 事業報告

・施設入所、生活介護、自立訓練（生活訓練）、短期入所の利用状況について

事業	定員	H27 年度 利用率	利用料	H28 年度 利用率	利用料	H29 年度 利用率	利用料
施設入所	30 名	98.5%	37,828,666 円	93.8%	38,486,667 円	94.7%	39,281,824 円
生活介護	20 名	95.3%	37,065,222 円	85.9%	34,544,390 円	92.0%	38,460,211 円
自立訓練	10 名	84.2%	17,364,283 円	91.1%	18,688,159 円	78.7%	16,220,943 円
短期入所	2 名	66.0%	2,821,327 円	71.6%	2,778,917 円	80.4%	2,951,549 円
合計			95,079,498 円		94,498,133 円		96,914,527 円

・施設入所者の地域移行について

移行先	一人暮らし	入院
移行人数	3 名	2 名
性別・年代	30 代男性 1 名、50 代男性 2 名	30 代男性 1 名、50 代女性 1 名

・新規入所者

事業	生活介護	自立訓練
性別・年代	50 代 男性 1 名	40 代男性 1 名、50 代男性 2 名 60 代男性 1 名

・活動報告

- *精神科病院入院患者様の体験入所を 5 名の方が延べ 28 日間行い、いずれも入所につながりました。
- *個別支援計画を自立訓練利用者は 3 か月に 1 回、生活介護利用者は 6 か月に 1 回、利用者とは個別に面談を行い適切な支援の内容について検討し計画の見直しを行いました。
- *「JOY SOUND 健康王国」いう機器を毎日利用し昼食前の「お口の体操」「健康体操」「カラオケ」等心身機能の活性化を図っています。
- *主に自立訓練の利用者中心に「服薬について」「困ったときの対処法」「SST（社会生活技能訓練）」等の座学を行い利用者のさまざまな意見を出し合い、自分に無い意見に気付きを得られる機会になりました。
- *入所会議で「ヒヤリハット」を出す機会を持ち改善方法等を話し合う機会を多く持ちました。
- *毎月行事を行っているが施設内行事は参加率が高いが外出行事は参加率が減少しているため選択肢を増やし参加しやすくしました。
- *東加古川病院に来られている研修医に糖尿病や肥満等の生活習慣病等の説明を利用者にしていただき、わかりやすいと好評でした。

平成 29 年度 就労継続支援 B 型第 1 工房 事業報告

・ H30 年 3 月現在の契約者数 57 名

・ H29 年度退所者数 11 名

・ 退所理由内訳	体調不良	就労	他施設へ	その他
	1	4	6	0

・ 利用率及び平均工賃

	利用人数 (人)	延べ人数 (人)	事業日数 (日)	利用率 (%)	平均工賃 (円)
4 月	52	590	24	122.9	9,400
5 月	53	581	24	121.0	10,147
6 月	54	669	26	128.7	10,300
7 月	53	612	25	122.4	10,368
8 月	50	585	26	112.5	10,802
9 月	49	558	24	116.3	10,186
10 月	50	634	25	126.8	10,904
11 月	49	617	25	123.4	11,566
12 月	48	599	24	124.8	11,086
1 月	46	541	23	117.6	10,675
2 月	45	533	23	115.9	10,708
3 月	47	586	26	112.7	11,483
平均	49.66	592.1	24.6	120.4	10,635
前年度平均	51.58	541.9	24.5	110.6	9,510

・ 活動報告

収益事業 : 現在行っている作業

施設外就労 東加古川病院清掃

金澤産業リサイクル品分別

軽作業 安全興業 (マルチキーパー、チェーンポール等
梱包作業)

ハリマパッケージ (段ボール組立)

清掃作業 施設内清掃
東加古川病院クリーニング
東加古川病院、緑寿苑4月、10月エアコンフィルター清掃
雑木林清掃管理

喫茶、パン パン製造、販売（配達、平岡中学校）
喫茶

となっている他、スポットでの作業も行っています。

就労支援 : ・3名の方が就労へ移行されています。

8月 オープン就労 東加古川病院クリーンキーパー

12月 就労A WING

12月 就労A WING

3月 就労A WING

・毎週金曜日午後から仕事のための勉強会、利用者同士で生活や対人面で困っている事を話し合うプログラムを行っており、毎回10～15名の方が参加しています。

平成 29 年度 就労継続支援 B 型第 2 工房 事業報告

・ H30 年 3 月現在の契約者数 33 名

・ H29 年度退所者数 4 名

・ 利用率及び平均工賃

	利用人数 (人)	延べ人数 (人)	事業日数 (日)	利用率 (%)	平均工賃 (円)
4 月	34	544	24	113.3	9,435
5 月	34	541	24	112.7	8,500
6 月	34	569	26	109.4	9,670
7 月	33	553	25	110.6	9,083
8 月	33	488	26	93.8	7,503
9 月	34	507	24	105.6	7,882
10 月	33	523	25	104.6	7,662
11 月	33	493	25	98.6	8,325
12 月	31	496	24	103.3	12,588
1 月	31	472	23	102.6	8,706
2 月	32	471	23	102.4	8,790
3 月	30	513	26	98.7	9,600
平均	32.66	514.16	24.58	104.6	8,979
前年度平均	32	516.91	24.5	105.5	8,769

・ 活動報告

収益事業：農作業	野菜の栽培、原木椎茸の栽培
軽作業	安全興業（梱包作業、シール貼り等）
施設外就労	エコフィールド循環協同組合（加西工業団地内）
清掃作業	雑木林清掃管理 権現湖 P A ハーブ園除草管理
販売	野菜の納品、イベントでの販売

行事：花見、バーベキュー、カラオケ、そうめん流し、バス旅行、
クッキング、忘年会、成人のお祝い、収穫祭、野菜市、地域交流会

平成 29 年度 地域活動支援センター 事業報告

- ・登録者数（平成 30 年 3 月現在） 57 名 （3 名と新規契約を結びました。）
- ・住所地内訳 加古川市 38 名、高砂市 5 名、播磨町 8 名、稲美町 5 名、他 1 名
- ・障害種別内訳 精神 30 人 知的 22 人 身体 2 人 知的+精神 3 人

・利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用延人数	317	336	353	341	298	299	306	309	296	281	262	290	3688 (人)
開所日	24	24	26	25	26	24	25	23	24	23	23	26	293 (日)
1日平均	13.2	14.0	13.5	13.6	12.9	12.4	12.2	13.4	12.3	12.2	11.3	11.1	12.6 (人)

・補助対象となる利用人員数（月 5 日以上、年 60 日以上来所のある利用者）（人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
全体合計	20	20	20	20	19	19	20	20	20	20	20	20	238
加古川市	17	17	17	17	16	16	17	17	17	17	17	17	202
高砂市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
播磨町	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
稲美町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

8 月 9 月の利用者数が、月 19 人となりました。体調不良や就労へ移行されたことによりです。

・運営補助金額	加古川市	11,284,000 円	高砂市	0 円
	播磨町	2,010,000 円	稲美町	0 円
			合計	13,294,000 円

・活動内容

メンバーミーティング・誕生会、運動部、お仕事タイム、てらだ Café、クッキングボランティアによる活動（陶芸・茶道・書道・コーラス・折り紙・ガーデニング・フラワーアレンジメント）、手作り作品販売、研修会（地域住民、保護者含む）

＝年間実施イベント＝

花見（姫路城）、ファミリー BBQ、工場見学（御座候）、ランチの会（ビストロ エエヤン!）、夏祭り、ふれあい地域交流会（コーラス発表）、バス旅行（神戸どうぶつ王国他）、カラオケ（レインボー）、写生大会、クリスマス会（てらだ入所にてコーラス発表）、初詣（日岡神社）、琴演奏会、フレンチコース料理を食べに行こう（10 周年イベント、ポム・ココット）、お楽しみ会（ゲーム、話し合い、お寿司）

平成 29 年度 相談支援事業 事業報告

①相談支援機能強化事業

近隣 2 市 2 町（加古川市・高砂市・稲美町・播磨町）の行政窓口にて専門職員を派遣し、相談業務に従事しました。

平成 29 年度の委託料については、下記の通りです。

市 町 名	委 託 料
加古川市（水曜日・木曜日）（平成 29 年 8 月末まで）	960,000 円
高砂市（月曜日）	1,152,000 円
稲美町（火曜日）	1,152,000 円
播磨町（金曜日）	1,152,000 円
委託料合計	4,416,000 円

②計画相談支援

計画相談支援については、平成 30 年 3 月末時点での契約者数が 481 名です。本年度の数値的目標としては、月平均 120 件以上の訪問（請求）ができるように取り組みました。

本年度の実績は下記のとおりです。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
請求件数	171 件	149 件	174 件	183 件	161 件	181 件
	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
請求件数	158 件	180 件	176 件	161 件	168 件	159 件

合計 2,021 件 月平均 168 件

他の事業所との連携を強化するため、各事業所と下記のとおり連絡会を実施しました。

開 催 日	事 業 所 名	サ ー ビ ス 種 類
5 月 2 5 日（木）	サポートプラス	居宅事業所
6 月 2 9 日（木）	ヘルパーステーションしおん	居宅事業所
9 月 2 6 日（火）	あしたばの家	就労継続支援 B 型
1 0 月 1 9 日（木）	ハンズ姫路	就労移行支援

③地域移行支援・地域定着支援

地域移行支援については、平成 29 年度中に精神科病院等からの依頼はなく実績はありません。地域定着支援については、障がい者支援センターから退所された方 1 名について支援を継続して行いました。主としては電話相談でした。

④基本相談

相談支援の入り口としての基本相談は、相談機能を持つ地域活動支援センターと連携しながら体制を確保しました。必要に応じて電話相談や来所相談を実施しました。